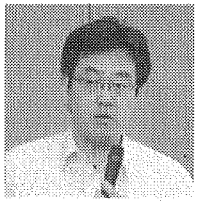
土木学会 269委員会

環境安全品質取り込み

非鉄スラグ骨材2指針改訂

土木学会コンクリート委員会の「非鉄スラグ骨材コンクリート研究小委員会（269委員会）」（委員長・宇治公隆首都大学東京大学院教授）は7月27日、『フェロニッケルスラグ骨材を用いたコンクリートの設計施工指針』（コンクリートライブラリー146）と『銅スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計施工指針』（同147）を刊行した。近年、スラグ類の活用にあたって共通の「環境安全品質」が各種基規準類に導入されていることを受け、環境安全品質を満足したうえで各スラグの長所を生かすための記述を盛り込んでいる。これに合わせて同月29日に東京・四谷の土木学会講堂で開催した講習会には約90人が出席した。



宇治公隆委員長

それぞれ、94年刊行の『フェロニッケルスラグ細骨材コンクリートの施工指針（案）』、98年刊行の『銅スラグ細骨材を用いたコンクリートの施工指針』の初の改訂版となる。初版刊行時からこれまでの施工実績や研究成果を反映させたほか、今年4月のJIS A5011「コンクリート用スラグ骨材」の第2部「フェロニッケルスラグ骨材」と第3部「銅スラグ骨材」の改正で、環境安全品質やその検査方法についての規定が盛り込まれたことに対応。フェロニッケルスラグ骨材JISについては新たに粗骨材が規格化されたことにも対応している。

新しい指針ではいずれも環境安全品質に関する新章を加えたほか、両スラグ骨材について長所を積極的に生かすとともに、短所については十分に留意する使い方を提案している。両スラグ骨材とも共通して密度が大きいという特徴があるため、消波ブロックなど重量が必要な構造物への活用が効果的としたほか、粒度調整が容易なため普通骨材との混合をする際にスラグ骨材で粒度調整する、コンクリートの品質改善に用いることなどを提案している。

短所については、重金属を含有するため環境安全性に配慮すべき、比重が大きいためブリーディングの増加や施工性の悪化等に留意している。大きいことなどするため、骨材はフェロ骨材の場合以下を標準と細骨材は同30%こと、銅スラグ細骨材は同30%することした。

講習会の

利組 砂毛西協

ダム堆積 山間部

砂利採取を通じ、河川やダム整備に貢献する群馬県の西毛砂利協同組合（山口勝理事長）。群馬、埼玉両県にまたがる下久保ダムに流入する堆積土砂掘削のため、毎年ダム上流部の神（がわ）左岸町）で採取は生コン合員1社が万3千㎥は山間部で難しいこと

石川砕協組 香川事業

香川県砕合（辻村敦社）は、組盤の確立災補償体制るとともに砕石業を自の開発など

公・労ては、民間た組合主導入を検討しての試験おり、近ア

こつざい 交差点

近畿工業営業本部次長 加藤誠人

キンキのふるい

1964年の東京オリンピックが始まる頃には、宝塚から長岡京まで約百カ所あった砕石場全てで当社製の振動篩が稼働していました。その頃から「キンキのふるい」を広くお客様に認知頂けるようになりました。

73年の石油ショック時の窮地を救ってくれたのが石炭向け製品でした。破砕機、振動篩を手掛け始めた当初は石炭向けの販売は順調でしたが、石炭から石油へのエネルギー源の転換が進んだために売れ行きは落ち込んでいました。ところが、石油ショックにより石炭の見直しが起こり、石炭に対する新しい処理技術への要求が出てきたのです。

その時生まれた製品が「V3セパレーター」です。水分のある3㎜アンダーの石炭を1時間あたり200㌧処理できる能力を有しました。遠心力により4G以上の篩い分けの力を発揮する世界唯一の竪型円形振動篩として、石炭やコークス、湿った窯業原料などを精度良く篩い分け、大手鉄鋼メーカーからも数多く受注しました。

破砕について、独自技術に加え米国のペンシルバニアクラッシャー社と業務提携したことで、石炭利用における粒度調整技術を身に付けることができました。

回転破砕機は、鉱山や鉄鋼、セメント原料、砕石業界向けに製作していましたが、72年に第一号となる廃棄物用破砕機を大阪府茨木市に納入しました。その破砕機は、衝撃で破砕する方式にせん断作用を付加し、叩くだけでは破砕できない畳など、多種多様なごみに対応する回転せん断式破砕機でした。以降、廃棄物処理の分野に進出していきます。のちに、低速2軸せん断式破砕機「シュレッドキング」シリーズは最大のヒット商品になり現在も主力製品です。